

保育経営懇ニュース

〒162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F
Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 gsp10404@nifty.com

2025 年 6・7 月合併号
No.258

2025 年 7 月 23 日発行
全国民間保育園経営研究懇話会

経営懇役員リレーエッセイ

子ども時代に民主的な関わりの体験を

津田亜矢子（大阪・(福)こばと会・さくら保育園）

梅雨入りしたと思ったら、もう梅雨明け・・・6 月の中旬から猛暑が続いています。

我が園は今年度からプールを始める時期を早めました。暑さ指数がすぐに危険となり、すぐに散歩にも行けなくなるので、プールを早めてよかったです。また、もともと乳児までの園だったので、ホールや園庭がなく、お散歩に行けないとなると本当に困るのです。色んな工夫をしながら保育はしているのですがハード面には限界があり、引っ越したい！と思いますが、土地の値段が高騰しているのと、土地がない・・・お金もない・・・日々悩みは尽きません。それでも、毎日子どもたちの笑顔を見ていると元気が出ます！

6 月 20 日に 4 歳児の合宿（保育園でお泊り）がありました。前日までに花火を買ったり、夕食の材料を決め買い物に行ったり、当日は、包丁を使って夕食づくりをしました。みなさんの園でもそうだと思うのですが、大人が決めて進めていくのは簡単なのです。子どもたちが自分たちで決め実行していくことは、一つ一つ合意形成をすることですので、とにかくもめます、時間もかかります。でも、そこに時間をかけていくことの大切さをとても実感します。この合宿の時も 4 歳児はグループで合意していくことを大切にしているのですが「クッキングの時に誰からは始めるか」「買い物の時のお金は誰がうけとるか」など一つ一つ、友達と相談して決めるのですが、どのグループも見ていておもしろいくらい自己主張しあっていました。楽しい活動を土台に、そういう活動を通して、自分の気持ちを友だちに伝え、友達に受け止めてもらう経験をへて、友達のことを理解できたり、友達のために！！と助けてあげようという気持ちが育まれていくのだと思います。そんな光景をカメラ係をしながらほほえましくみていました。そういう活動をたくさんしていく中で 5 歳児になると自分たちのことは自分たちで決めていく、判断する力もついていくようになります。そして、力の強いものの言うことを聞くのではなく、しっかりと嫌なことは嫌だ！と言えるようになっていきます。

今の学校を見ていると、そんな民主的なかわりを経験する機会は、今は保育園しかないのかなと感じます。保育園時代でさえ経験しないかもしれないと思うとぞっとします。ただ、今の職員配置では無理があります。子どもの思いをていねいに聞く、子ども同士で対話ができるように心を配る・・・みんな精一杯がんばってます！！“みんなは一人のためにひとりみんなのために”もう一人保育士を！

2025 年度定時社員総会.....

6 月 22～23 日、東京にて、2025 年度の定時社員総会を開催しました。今年度より一般社団法人に移行したことから、初めての社員総会となりました。参加状況は、会場参加 57 人、Zoom 参加 133 人、委任状 216 人、計 397 人で過半数の参加で無事成立しました（社員数 497

名）。会場には社員以外の参加もあり、約 90 名が対面で集いました。

総会に合わせて、学習会企画を開催し、1 日目は中山徹さんを迎えてのシンポジウム、2 日間は渡辺治さんから平和な社会をどう実現するのか、熱く語っていただきました。

総会では最初に法人の設立趣旨と定款の提案、役員を選任を行いました。役員選任後、第1回理事会を開催し、代表理事、業務執行理事等を確認し、報告しました。

以下、役員の名簿を掲載します。

2025 年度もよろしく
お願いいたします。



	氏名	県	法人	保育園名
理事	菅原 信子	北海道	(福) 旭川葦の会	旭川のびろ保育園
理事	池原 由美子	宮城	(福) あゆみ会	浮島保育所
業務執行理事	阿部 啓一	山形	(福) 慈風会	はらっぱ保育園
業務執行理事 (事務局)	川端 隆	東京	(福) 新田保育園	新田保育園
業務執行理事 (事務局次長)	安川 信一郎	東京	(福) 多摩福祉会	
理事	飯田 由美	東京	(福) 育和会	しいの実保育園
理事	小林 忍	神奈川	(福) 鎌倉たんぼぼ会	
理事	足立 堅太郎	神奈川	(福) 神奈川労働福祉協会	法人本部
監事	芳尾 寛子	神奈川	(福) あおぞら	あおぞら谷津保育園
理事	佐藤 滋美	埼玉	(福) くるみ会	第2くるみ保育園
理事	高田 満	埼玉	(福) こぐま会	めだか保育園
理事	伊東 宏	茨城	(福) 諏訪福祉会	つくしんぼ保育園
理事	下出 ふじ子	群馬	(福) 太陽福祉会	
理事	加藤 朋子	静岡	(福) みんなの森福祉会	みかんの家
業務執行理事	小西 文代	愛知	(福) 新瑞福祉会	法人本部
理事	岡田 寿美代	愛知	(福) 犬山福祉会	犬山さくら保育園
理事	平野 桃子	大阪	(福) 大阪福祉事業財団	なかよしすみれ保育園
監事	津田 亜矢子	大阪	(福) こばと会	さくら保育園
理事	土田 明子	大阪	(福) あおば福祉会	法人本部
理事	松川 修	兵庫	(福) あゆみ福祉会	
業務執行理事	細見 玲美	京都	(福) くわの実つむぎ会	
理事	池添 鉄平	京都	(福) 京都保育センター	たかつかさ保育園
代表理事 (会長)	石川 幸枝	広島	(福) 愛児福祉会	
業務執行理事 (事務局長)	森山 幸朗	島根	(福) あおぞら福祉会	あおぞら保育園
業務執行理事	中岡 亘	福岡	(福) 頓野児童福祉会	福智中央保育園
理事	愛甲 明実	鹿児島	(福) 麦の芽福祉会	共同保育所ひまわり園
顧問：合田千里 (愛媛)、志村毅一 (東京)、原田秀一 (福岡)				

2025 年度の主な予定

○8月2～4日(土～月)第57回合研集会 in 群馬

○9月8日(月) 夏季セミナー

会場 東京 (KFC ルーム)

○11月13～14日(木～金) 主任セミナー

会場 神奈川 (ニューウェルシティ湯河原)

○26年1月12～14日(月～水) 経営研究セミナー

会場 兵庫 (神戸ペイシェラトンホテル&タワーズ)

全国経営懇 相談窓口

○相談アドレスに下記を記入し送信してください

- ①法人名・施設名・お名前・電話番号
- ②相談内容 (概要など簡単に)

○メール回答。電話等での相談が必要な場合は、
相談日時等をメールでお伝えします。

○相談アドレス haradanchi@gmail.com

保育をめぐる情勢・国の動き・・・・・・・・・・・・・・・・

●人口減少社会での福祉「サービス」提供体制、厚労省が検討会

厚生労働省は、2025年1月から「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会を開催しています。今後の高齢化や人口減に対し、介護・福祉のあり方を検討することが目的とされています。

4月には、高齢者福祉・介護について、人口減少が深刻な地域では、ニーズに応じた柔軟な対応が必要として、配置基準等の弾力化や社会福祉法人の連携・合併等で人材を確保するといった方向性が中間とまとめで示されました。

保育も検討の対象に・・・

中間とりまとめ後には、子ども分野・障害福祉分野も加えて検討が始まり、6月23日第8回会合で「方向性案」が示されました。

方向性案では、保育の具体的な課題について、子どもが少ない地域では保育士の確保が困難なので、「様々な配置基準についても弾力化」が必要、少子化に伴って「事業譲渡・合併や統廃合についても必要に応じて進める」としています。人材確保に向けては、保育士等の処遇改善や働きやすい労働環境づくり等があげられていますが、これまでの取り組みを継続するという記述にとどまり具体的ではありません。一方で、保育士以外の幅広い人材の活用による業

務効率や、ICT導入・テクノロジー活用による業務改善等が強調されています。

公的責任拡充の視点が欠如!?

この検討会は、介護保険制度や高齢者介護・福祉分野を担当する老健局局長の私的諮問機関にすぎず、法律的な位置づけはありません。しかし、こども家庭庁成育局保育政策課も協力する体制となっており、今後の保育施策にも何らかの影響が及ぶ恐れがあります。

注意すべきは、この検討会での論議において、公的な責任の視点があるか、という点です。日本の保育制度は、国・自治体が責任を負い、保育を公的に保障するという考え方のもとに形作られてきました。子ども・子育て支援新制度以降、さらに複雑さを増していますが、「保育は公が責任をもって実施する」という骨組みは、今も維持されています。こうした点から考えると、人口減少が進む地域での保育・福祉についても、国・自治体の責任での保障を求めることが重要です。また、人口減・少子化を理由に、やっと改善させた配置基準を形骸化させるような基準の弾力化や、社会福祉法人の連携・合併等の経営努力頼みの方向性について、問題があることを指摘していくことが必要です。

検討会の動向を注視し、各地から声をあげましょう。

●「こども誰でも通園制度の本格実施に向けた検討会」スタート

こども家庭庁は、2026(令8)年度からの誰でも通園制度本格実施に向けた検討会を、7月18日からスタートさせました。この検討会は、昨年度の誰でも通園制度の検討会(「こども誰でも通園制度の制度化、本格実施に向けた検討会」)の名称を変更して継続されるものです。

25年度の実施状況—254自治体が実施予定

2025年度は、地域子ども・子育て支援事業として、自治体の判断で実施されます。6月末時点での、25年度実施予定数は、254自治体・1,999事業所と示されています。このうち、受け入れを開始しているのは、115自治体です(右図参照)。7月以降、順次開始されますが、開始時期にばらつきがあることがわかります。

検討会は3回を予定

検討会自体は、9～10月に第2回を開催、12月には第3回検討会を経て、議論の取りまとめと、手引改正案を示す予定と、されています。



令和8年4月より、こども誰でも通園制度は、 全ての市町村において実施する

事業実施に向けた準備・検討の枠組み

こどもまんなか こども家庭庁

- 政令・内閣府令（施行規則等）の改正
- 運営基準の制定
- 公定価格告示の制定
- 各種通知の改正・発出
- 実施に向けた予算確保
- こども誰でも通園制度の実施に関する手引の更新
- リーフレット等作成
- 総合支援システムの改修等
- 市区町村・都道府県への、本格実施に向けた連携・支援

都道府県

- 実施に向けた予算確保
- 市区町村への本格実施に向けた助言・支援（広域的な対応を含む）
- 市区町村の実施状況等に関する情報集約

市区町村

- ① ニーズ把握と必要量の推計、「子ども・子育て支援事業計画」への盛り込み
- ② 実施に向けた予算確保
- ③ 条例等の制定、改正
- ④ 実施事業所の検討・実施に向けた事業所との調整
- ⑤ 認可手続き（市町村児童福祉審議会等への意見聴取等）
- ⑥ 子ども・子育て支援法に基づく施設の確認
- ⑦ 全体としての提供量の確保と施設整備
- ⑧ 広報周知

上記資料にあるように、国が政令や運営基準等の法律的な枠組みを制定・改正し、それをふまえて各自治体が「支援事業計画」への盛り込みや予算確保、条例制定、認可手続き等を行うことになるようです。資料によれば「・国は8月に子・子計画基本指針等の改正案を提示。自治体は量の見込みと確保方策について検討し、子・子支援事業計画等の変更を年内に実施。

・確認基準について、国は10月頃に内閣府令の案を提示。自治体は、条例案について検討し、12月議会で制定」と提示されています。今年度中に進めなければいけないため、市区町村の負担が増すものと推測されます。

また、2024年度の試行的事業の調査研究によれば、今後の課題のなかには「保育士確保、業務負担増とならない体制の工夫、運営費の確保」等が挙げられています。そうした課題に沿

って考えると、安定的に保育士を確保し運営できる公定価格になっているのか、人員配置・設備運営基準は保育士1/2のままでいいのか、など、課題山積と言えます。

自治体の動きをつかみ要望や連携を

今年度、実施する自治体では、少しでも子ども本位の実施内容になるよう要望を続けることが来年度の本格実施にもつながるのではないのでしょうか。今年度実施しない自治体でも、事業計画の変更や条例制定が迫っています。園長会やそれぞれの団体で、自治体との懇談等を行い、状況を把握する必要があります。

また、誰でも通園制度を実際にとりくみつつ改善させていこうと考えている法人・園もあるかと思いますので、自治体での実施状況や課題など、お寄せください。

お知らせ.....

●夏季セミナー2025

今回は、教育と保育、保育情勢、平和の三つを柱に、講演と各地からの報告を予定しています。同封の案内書・振込用紙でお申し込みください。

同封資料

- 誰でも通園制度検討会資料（抜粋）
- 夏季セミナー2025案内書・振込用紙
- 講師（殿平さん）書籍チラシ
- 清水玲子さん新刊チラシ

【経営懇活動日誌・5～6月】

- 5月8日(木)研修部会
- 5月10～11日(土～日)保育学会 in 長野
- 5月12日(月)三役会。総会議案の論議。
- 5月17～18日(土～日)全保連総会 in 東京
- 5月26日(月)役員会開催。
- 6月2日(月)主任セミナー会場下見（湯河原）。午後、第1回主任セミナー実行委員会（横浜市）
- 6月7日（土）全保連常任幹事会
- 6月9日（月）三役・役員会。総会直前、出欠状況の確認や委任状集約、総会当日の運営検討
- 6月10日（火）会計監査
- 6月21日（土）合研分科会打ち合わせ会議
- 6月22～23日（日～月）定時社員総会。